

令和7年度県高等学校弓道選手権大会（兼）第70回全国高等学校弓道大会県予選会 要項

- 1 主催 群馬県高等学校体育連盟
- 2 主管 群馬県高等学校体育連盟弓道専門部
- 3 開催日 令和7年5月31日（土） 女子団体予選・個人予選
6月1日（日） 男子団体予選・個人予選
6月14日（土） 男女個人準決勝決勝・男女団体準決勝決勝
- 4 日程 監督会議（各校顧問）…近的射場 8：00～
出場校受付（顧問のみ）…小会議室 監督会議終了後
開会式（代表選手1名）…近的射場 監督会議終了後
*係職員と当番校生徒は開場の準備が整い次第入場し、会場準備にあたる。（7時45分～入場予定）
*選手は8時00分以降当番校生徒入場後に入場できる。（鞆袋を各自で持参する）
*当番の仕事内容は、本専門部顧問必携を参照する。
*決勝日の大会競技役員割り当ては、予選終了後、予選通過校顧問に電子メールで連絡する。
- 5 会場 A L S O Kぐんま武道館弓道場 前橋市関根町800番地 電話027-234-1200
- 6 競技種目 近的競技 的中制 直径36cm霰的（ビニール製の紙）
- 7 競技種別 男子の部・女子の部
- 8 競技種類 団体戦…男女とも各校1チーム-選手6名（正選手5名・補欠1名）以内
個人戦…男女とも39名以内（団体出場選手は団体戦予選の的中を個人戦予選の的中とする）
- 9 競技規則 全国高等学校体育連盟弓道競技規則・競技運営細則による。
- 10 競技方法 射場区分
：団体戦
予選1回戦 …5人立 2射場 + 補欠2人立 1射場 立射
予選2回戦・準決勝・決勝 …5人立 2射場 立射
*団体予選2回戦・準決勝・決勝は 1的・12的を使用しない…的を外さないで仕切棒の位置を移動する
*決勝は第1控の後に次の試合の選手控席を置く
：個人戦
予選 …団体戦5人立 2射場 + 補欠戦2人立 1射場 立射
個人戦3人立 4射場 立射
準決勝・決勝 …3人立 4射場 立射
競技内容
：団体戦
予選 1回戦 …1チーム20射（各自4射）を行い、男子8中以上女子7中以上が通過する。
予選 2回戦 …1チーム20射（各自4射）を行い、男女とも上位8チーム程度を準決勝進出とする。
準決勝 …1チーム20射（各自4射）を行い、男女とも上位4チームを通過とする。
決勝 …男女別に4チームのリーグ戦とし、1チーム20射（各自4射）×3試合行う。
*順位決定は①～③で行う
①勝ち数の多いチーム ②勝ち数が同数の場合は的中の上位 ③1本競射
：個人戦
予選 1回戦 …各自4射を行い、2中以上を通過とする。
予選 2回戦 …各自4射を行い、男子6中以上、女子5中以上を予選通過とする。
準決勝 …各自8射を行い、予選成績と合計して男女別に上位12名程度を通過とする。
決勝 …各自4射を行い、予選と準決勝の成績と合計して順位を決定する。
*予選通過者が4名以下の場合は予選通過の的中数を1中下げる
*団体予選1回戦不通過でも2中以上した者は個人戦の対象とする。
*予選1回戦で2中以上していない者は団体予選2回戦で4射引いたとしても個人準決勝進出の対象にはならない。
競技における注意事項
：団体戦
*選手の交代は3回認め、第3控に入るまでに所定の用紙に記入して、監督が本部に届け出る。
○一度受け付けた交代を取り消すことはできない。
○交代した選手は一度試合に出場しないと交代できない。（競射のみの交代はできない）
*決勝立順は予選の的中上位チーム（同中の場合は立順）より抽選し、若番を第1射場とする。
*競射による決勝進出チームが複数ある場合も、立順の早いチームより抽選する。
*時間制限をおこなう。
○6分30秒で予鈴、7分で本鈴の合図をし、本鈴と同時に発射は無効とする。
○時間制限により無効となった矢は、団体戦の的中を個人戦の的中とするため個人戦の的中も無効とする。
○団体合同チームの計時は参考とするが、著しく遅い場合は本部より顧問を通して注意する。
*決勝リーグの競射1本目は替矢で行うので準備をする。
*競射1本目が同中になった場合の矢返しは看的が矢道を通り直接進行に渡す。以後4本ごと同様に矢返し
：個人戦
*出場権のかかる順位決定は射詰めとし、それ以外は遠近（多人数の場合は複数的使用）で順位を決める。
*射詰競射は4射の的中が続いても結果が出ない場合は、八寸的（星的）を使用する。
- 11 競技順序 団体予選・個人（補欠）予選
①団体・補欠予選1回戦（2名以内のチームは団体の最後に合同チームで引く）
②団体予選2回戦
③団体戦落ち個人・補欠2中以上 個人予選2回戦
④個人予選1回戦
⑤個人予選2回戦

団体準決勝・決勝・個人準決勝・決勝

①団体準決勝

②団体決勝リーグ戦進出が決まらない場合の1本競技

③決勝リーグ戦抽選 + 個人準決勝の招集 → 抽選会場は小会議室

④個人準決勝

⑤個人決勝

⑥個人出場権決定射詰競技

⑦個人順位決定遠近競技

⑧団体リーグ戦

(競技1本目が同中になった場合の矢返しは看的が矢取道を通り直接進行に渡す。以後4本ごと同様に矢返し)

⑨団体順位決定競技

⑩閉会式・表彰式

⑪個人・団体の代表校監督会議

- 12 引率監督 団体戦の引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。(公立学校にあっては教員とする。)
個人戦の引率責任者は、校長の認める学校の職員とする。(公立学校にあっては教員とする。)
校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。

→「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、事前に県高体連会長に届け出る。

監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

- 13 参加資格 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
大会申込までに群馬県高体連弓道競技専門部に登録した生徒であること。
年齢は早生まれの者は18歳以下とし、それ以外の者は19歳以下とする。
出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
チーム編成は、全日制、定時制、通信制の生徒による混成は認めない。統廃合対象学校は合同チームを認める。
転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。ただし、一家転住の場合は、特例として参加を認める。
参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。

- 14 表 彰 男女ともに

団体 1位 賞状・楯・メダル(高体連)・優勝旗(持ち回り-前年度優勝校にレプリカ贈呈)

2~3位 賞状・楯

4位 賞状

個人 1位 賞状・メダル(高体連)・メダル(専門部)

2~5位 賞状・メダル(専門部)

*昨年度団体優勝校「男・前商」「女・育英」は優勝旗の返還をする。

- 15 代表権 男女ともに団体1位のチームと個人1位~2位の選手に代表権が与えられ、辞退があった場合は次の順位に繰り下げる。
*団体代表権を獲得したチーム内に個人1位、2位が含まれた場合も個人代表権を認める。
*令和7年度は関東総体団体優勝校にインターハイ団体出場権が与えられるため、該当校がある場合はその学校を除く。

第70回全国高校弓道大会 令和7年7月31日~8月3日 於・鳥取県米子市

- 16 参加料 1人500円(当日受付に払込むこと-当日欠席であってもエントリー人数分を支払う)

- 17 申込方法 申込ファイルに入力の上、5月22日(木)16:00(期限厳守)必着で下記宛にメールする。

申込先 高体連弓道専門部 MAIL gunkyumi@yahoo.co.jp

- 18 プロ編成 5月27日(火)13:30より市立太田高校にて委員長・副委員長・常任委員により実施する。

- 19 注意事項 ①プログラムに記載された番号のゼッケンを右腰に付けること。

②引率責任者不在の場合は選手の参加は認めない。

③顧問の昼食については、各自で準備する。

④弓具には記名しておくことが望ましい。(忘れ物があった時は忘れ物コーナーに置いておく)

⑤碟の紐は小さく結ぶ。妻手の留め具や紐幅が広い押手蹠、小指付根押手蹠、ゴム底足袋の使用は禁止する。

⑥追い越し発射は追い越した矢を無効とする。

⑦進行の「起立・始め」の号令は矢取り終了後にかける。

(制限時間がない個人戦、計時が参考となる団体戦は最後の射手が足踏みを閉じたら号令をかける)

⑧介添えは監督または各校生徒とし、替矢・替弦は介添えが持って入場する。

弦切れの場合は介添えが弦を張る。弦が張れない場合は進行に申し出る。

競技で替矢を使用する際は、介添えが矢を選手の正面から渡す。渡す際に指示・激励に類する行為はしない。

的中の異議申し立ては矢取り開始前に介添えが行う。

介添えが付けられない場合、選手は替矢・替弦を招集係に渡す。

⑨服装等については顧問総会の取り決めに従うものとする。

⑩控や控室、矢取や看的待機場所での私語はしない。

⑪貴重品の管理は各自で行うこと。

⑫会場での飲食等ででたゴミは必ず持ち帰ること。

⑬大会当番は準備・仕事・片付けを行い、片付け終了後は大会委員長または大会副委員長に報告をする。

◎大会申込書の提出で、学校名・学年・氏名の個人情報の取り扱いについて、承諾を得たものとする。

大会プログラム・事務連絡文書の記載、大会プログラム・結果のWebページへの掲載に使用する。

※Web公開する大会プログラムにはパスワードを設定し関係者以外は見られないようにする。